

国際理解出前講座



# 大草原の国・モンゴル



11月23日（金・祝）に高岡公民館で国際理解出前講座「大草原の国・モンゴル」を実施しました。講師はモンゴル出身アサルト レンツェンホルロー オユンゲレル（愛称：オーヨー）さんです。

数日前から急に冷え込み、この日も寒かったのですが、20名を超える地域のみなさんがお越しくださいました。オーヨーさんによると、モンゴルの冬に比べるとずいぶん暖かいそうです。

モンゴルは、面積が日本の約4倍、人口は300万人で21県からなる国です。大草原や遊牧民のイメージが強いですが、若い世代を中心に、人口の半数は首都ウランバートルに住んでいるそうです。

四季やお正月の過ごし方などを、モンゴルと日本の違いを比較しながら、紹介していただきました。ナーダムという夏の祭りでは相撲や弓道、競馬が行われるそうです。お正月には親戚が大勢やってくるので、「ボーズ」という餃子のような料理を大量に作って、外で凍らせておきます。子どもたちもお手伝いで大活躍だそうです。



また、馬頭琴とホーメイの音楽を鑑賞したり、遊牧民の住まい「ゲル」を覆うフェルトや羊の骨で作ったおもちゃ「シャガイ」を見せていただいたりしました。

最後はみなさんと、ありがとうございますという意味のモンゴル語「バイララー」であいさつをしました。